

## 1. 木田宏教育資料について

### (2) 岐阜女子大学における「木田文庫」の整備について

岐阜女子大学  
谷 里佐・三宅茜巳

岐阜女子大学における木田宏教育資料「木田文庫」の整備は、平成 16 年からはじまり、今年（平成 24 年）、岐阜女子大学図書館に「木田文庫」が公開された。そこで、木田宏教育資料「木田文庫」について、関連資料も含め、報告する。

木田宏教育資料とは、故木田宏先生（元文部事務次官）が著された書籍や論文等をはじめ、所蔵されていた各種資料、「木田宏オーラルヒストリー」としてまとめられている話の記録等を指す。

木田先生は、昭和 21 年に文部省（現文部科学省）に入省され、以後、生涯にわたって、教科書または教科書制度、教育委員会制度等、戦後の教育に関わられ、多くの教育関係の書籍、資料類を残された。主に、昭和 21 年～平成 17 年頃までの戦後の多様な教育関連資料が揃っている。これらは、教育分野における基礎的な資料であり、教育研究分野の貴重な資料といえる。

これらを、木田先生およびご家族のご厚意により、教育研究用として、平成 16 年（2004）に、図書 5,959 冊、雑誌 4,188 冊の計 10,147 冊、平成 24 年（2012）に追加として図書 125 冊の総計 10,272 冊を岐阜女子大学に寄贈いただいた（その他、ノート、ハガキ類といった資料も寄贈いただいた）。

岐阜女子大学では、これら寄贈いただいた 10,272 冊を「木田文庫」として整備している。

#### ○ 冊子『木田宏教育資料』

『木田宏教育資料』は、岐阜大学教育学部附属カリキュラム開発研究センターにて、平成 7 年から数回に分けて実施された木田宏先生の話（「木田宏オーラルヒストリー」）の記録と著された原稿などをまとめた冊子である。“昭和 20 年代初期”（第 1 巻）から“平成 11 年～15 年”（第 15 巻）までの全 15 巻が刊行されている。主に、木田先生の各論文、雑誌、新聞等への掲載原稿と講演会やシンポジウムの講演録等が収録されており、編年順で整理されている。岐阜女子大学は、第 9 巻からの編集を担当した。



図 1 『木田宏教育資料』全 15 巻

## ○ 「木田文庫」の整備

「木田文庫」は、木田宏先生のご自宅の書庫に保管されていた木田先生所蔵の書籍、資料類の中から、平成16年と平成24年に岐阜女子大学へ寄贈いただいたものであり、とくに、平成24年に寄贈いただいた追加書籍、資料類は、天野貞祐、和辻哲郎、九鬼周造等の著作があり、追加寄贈いただいたご家族によると、木田先生自身が戦前・戦後と大切に保存されていたものであるという。

「木田文庫」の整理にあたっては、平成16年3月に木田先生のご自宅に、後藤忠彦先生（現岐阜女子大学学長）はじめ、学生数人で伺い、収集させていただいた。その際、“原形保存”・“原秩序尊重”に則り、木田先生のご自宅書庫の書棚ごとに番号を付与し、その番号ごとに箱に入れ、収集し、その番号ごとに目録化し、配架した。

これにより、木田先生が管理されていた書庫について、どのような内容でまとめ、分類されていたかを把握することもできる。



図2 木田先生宅で寄贈図書をもとめる学生たち  
(平成16年3月)



図4 収集された寄贈図書（約300箱）



図5 岐阜女子大学で整理する学生たち  
(平成24年3月)



図6 配架された「木田文庫」



図7 木田先生宅の書庫の番号を付与

### ○ 「木田宏オーラルヒストリー」のデジタルアーカイブ

「木田宏オーラルヒストリー」は、木田宏先生の戦後の教育についての話をまとめたものであり、『木田宏教育資料』第1巻～第5巻に以下の通り収録されている。

- ・昭和20年代初期における教育について (平成7年11月29日・30日)
- ・教育委員会制度の導入と定着 (平成8年5月21日・22日)
- ・教職員組合について (平成8年5月22日)
- ・大学問題への取り組み (平成8年9月4日・5日)
- ・社会教育、体育、国際化等の諸問題 (平成8年11月22日)
- ・国立教育研究所時代 (平成10年1月31日)

さらに、上記を総括する内容について、平成16年6月27日・28日に、岐阜女子大学文化情報研究センターにて再度お話いただき、木田先生の話されている映像記録を行った。

平成16年の記録は、「木田宏オーラルヒストリー」デジタルアーカイブとしてまとめ、文部省（大臣官房）ほかの依頼を受け、DVDの制作と提供を行った。その他、貴重な教育資料（教材）として、岐阜女子大学公開講座等での教育利用および一部のインターネット公開等を行っている。

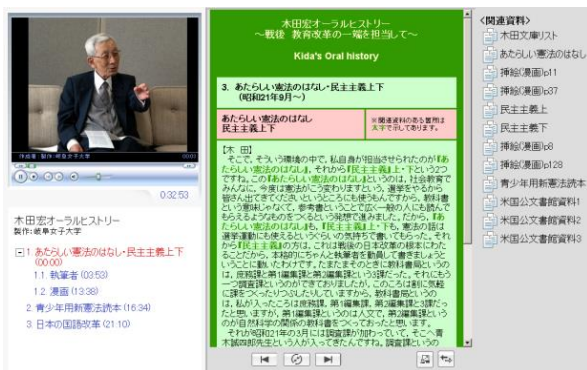


図8 オーラルヒストリーデジタルアーカイブ

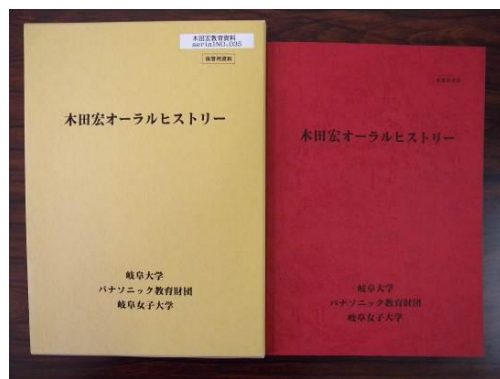


図9 冊子『木田宏オーラルヒストリー』

また、「木田宏オーラルヒストリー」については、岐阜大学にて収録された平成7年から平成10年までのものと、デジタルアーカイブを行った平成16年のものを併せ、冊子『木田宏オーラルヒストリー』として並製本および上製本にそれぞれまとめた。

## ○ 研究利用ガイドの刊行

木田宏教育資料「木田文庫」には、戦後の教科書および教科書制度、教育委員会制度等、多くの課題に関わる多種多様な資料がある。また、それら、書籍、資料類とともに、木田先生のオーラルヒストリーも残されている。これらは、教材開発、教育方法、教育制度等、戦後の教育資料としてさまざまな研究利用が期待できる。

しかし、「木田文庫」として整備されたこれらの資料を一つひとつ紐解き、大学院生や学部生が自分の研究に必要な資料を見つけ出し、研究利用することは容易ではない。

そこで、大学院生や学部生への研究利用支援として、「木田文庫」・「木田宏オーラルヒストリー」の中から、後藤先生が教育研究に役立つと考えられる戦後から現在までの資料を各分野別で抽出し、いくつかの重要資料等を選び、リスト化して提供する研究利用ガイドとして、『木田宏教育資料案内』(1)・(2)の作成を行い、刊行した。

『木田宏教育資料案内』(1)・(2)は、大学院生や学部生が自分の研究に関係のある資料を選び、そこから、他の資料を探し出し、利用する糸口と出来るよう配慮されている。単に、研究利用できる資料を教えるというものではない。

たとえば、「木田文庫」には、昭和21年3月の米国教育使節団に対する文部大臣（当時）安倍能成氏のあいさつ文や木田先生の著書『新教育と教科書制度』をはじめとした教育研究上重要な資料が整理されており、『木田宏教育資料案内』ではそれらの資料を紹介しながら、他に自分の力でどういう資料を探し、学修する必要があるかを示している。

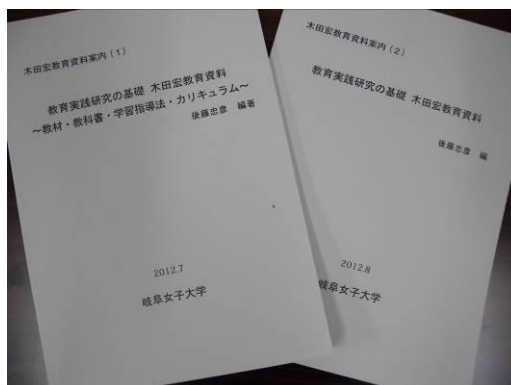


図10 冊子『木田宏教育資料案内』

### 研究利用ガイドの例

#### ① 教育基本法 ～旧教育基本法の成立の文献～

「木田文庫」には、旧教育基本法成立時の第62回帝国議会（教育基本法の審議録）、安部能成文部大臣の米国教育使節団に対する“あいさつ”、田中耕太郎文部大臣の論文等の貴重な文献資料があることを紹介している。

実際に、これらの資料を用いて、岐阜女子大学沖縄サテライト校の大学院生が、教育基本法の成立および新教育基本法における課題について検討している。

#### ② 教科書のデジタル化

木田宏著『新教育と教科書制度』は、戦後の教科書制度の出発点を示す資料であり、

また、「木田宏オーラルヒストリー」をはじめとした各種資料には、教科書および教科書制度や教材のデジタル化についての重要な証言がある。これらを用いて、教科書のデジタル化、教材開発等についての研究も考えられる。

とくに、「木田宏オーラルヒストリー」の中に収められている、『新教育と教科書制度』を著された際の出来事や思いについての証言は、デジタル化時代に、紙と併せデジタル媒体を用いる教科書や教科書制度を考える上での資料の一つとなる。

以上に報告した通り、木田宏教育資料「木田文庫」は、広い分野での教育研究において貴重な資料が揃っており、これらを利用した多くの研究が期待される。このため、岐阜女子大学では、図書館における「木田文庫」の整備をはじめとして、「木田宏オーラルヒストリー」の冊子化、オーラルヒストリーのデジタルアーカイブ等を行い、研究利用ガイド『木田宏教育資料案内』(1)・(2)の刊行も行った。

これらを利用し、大学院生のみでなく、学部生等への研究利用の支援を行っていきたいと考える。

最後になりましたが、木田宏教育資料「木田文庫」の整備が行えたのは、書籍、資料類を寄贈いただいた故木田宏先生、木田望様はじめご家族のご厚意によるものであり、深く感謝いたします。

また、長年にわたり、木田宏教育資料の整備に携わってこられた後藤忠彦先生はもちろん、岐阜大学、公益財団法人パナソニック教育財団ほか、多くの関係者のみなさまのご支援にお礼申し上げます。